

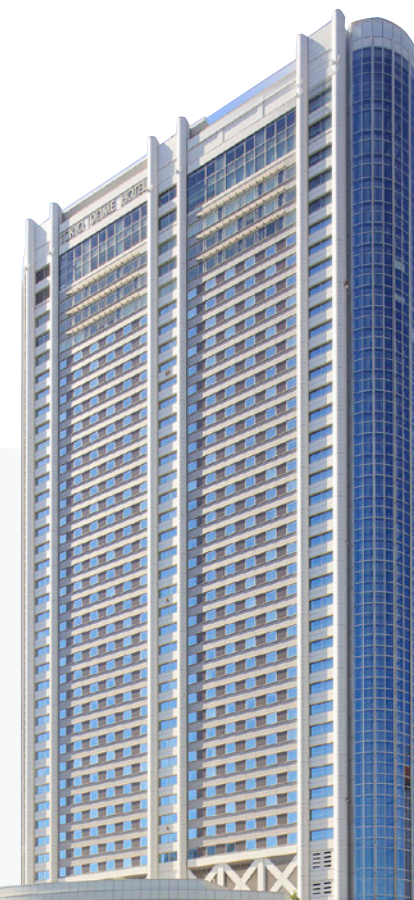
S U S T A I N A B I L I T Y R E P O R T

サステイナビリティレポート2022

豊かな社会の実現に向けて



東京ドームホテル



持続可能な観光に資するために

東京ドームホテルは2000年に開業いたしました。

東京ドームに隣接し、都心最大級のエンターテインメントエリアである東京ドームシティ内に位置することから開業当初より「楽しさ度ランキングNo.1ホテル」をビジョンとし、お客様の“楽しさ”だけではなく働く従業員もそれぞれの“楽しさ”を日々感じながら生き生きとしたサービスを提供してまいりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、社会・経済活動の課題がより浮き彫りになりました。サステナビリティの観点では喫緊の課題である気候変動への取り組みが大きく加速した一方で、人権問題がより顕在化するなど企業活動においても、経済価値に加えて環境価値や社会価値がより重要視されるようになりました。

このような環境下において「持続可能な観光」の一翼を担うホテル業を生業としている私どもは「将来世代のニーズを損なわずに現役世代のニーズを満たす商品開発」が求められ、社会の課題解決を常に意識しながら中長期的に遂行していく必要があります。

東京ドームホテルにおいては重点課題を定め、一人ひとりが自分事として意識できる“人起点”にて一步一步進めてまいります。



代表取締役社長
執行役員

棟方 史幸

お客様に届けたい価値 「楽しさ度ランキングNo.1ホテル」

東京ドームホテルが目指すのは
“楽しさ度ランキングNo.1ホテル”。

それは「今までにない新しいホテル文化を創造し、東京ドームホテルにいらっしゃるすべてのお客様の“楽しさ”を共に実現させたい」という夢が根底にあります。お客様の数だけ“楽しさ”の表現方法があり、その可能性は無限です。



TOKYO DOME HOTEL ミッション・ステートメント Mission Statement

私たちのビジョン
楽しさ度ランキングNO.1ホテル

私たちの目標

- 1 日本で一番安全で安心なホテルを目指します
- 2 国際ホテルとしてお客様の期待に応えられる四つ星ホテルを目指します
- 3 近隣の方々に親しまれ交流の場となるホテルを目指します
- 4 豊かさや夢を持って働けるホテルを目指します
- 5 東京ドームシティに貢献し、価値の向上を目指します

マインド

私たちはいつもどのようにしたらお客様に喜んでいただけるかを考えながら行動します

私たちの行動指針

- 私たちは**笑顔**でお客様と仲間に接し、挨拶を大切にします
 私たちは**感謝**の気持ちをもって行動します
 私たちは**チームワーク**を大切にします
 私たちは**礼儀**正しい行動をします
 私たちは**責任感**をもって行動し、約束を守ります
 私たちは好感のもてる**身だしなみ**を心がけます
 私たちは設備を大切にし、常に**クレンリネス**に努めます

東京ドームホテル SDGs宣言までのあゆみ

2021年4月より“SDGs分科会”を立上げ全社的に取り組むための社内の基盤づくりを行いました。
知識・意義の共有、意識づけ、目標の設定を行い、
2022年4月1日より、よりよい未来のためにSDGsへの取り組みをスタートいたしました。



2021年4月
SDGs
分科会の発足

SDGsに取り組むため、お客様満足度向上を目的としたCS委員会の分科会として2021年4月に発足いたしました。分科会は各部署から招集されたメンバーで構成され、月に1度のペースで目標設定や社内啓蒙活動について意見交換を行いました。

2021年7月
社内説明会の
開催



2021年7月、4日間にわたって全社説明会を開催いたしました。延べ400名を超えるスタッフに「SDGsとは何か、なぜ必要なのか」という趣旨で説明を行いました。

2021年7月
社内
ポータルサイトの
開設

SDGsについて共に学び、考えるための情報をはじめ、分科会の活動報告などを社内ポータルサイトへ公開いたしました。

2021年8月
みんなで取り組む
SDGsの
実施



月に一度、社員インタビューおよび座談会を行い、一人ひとりが自分事として取り組めるような基盤づくりをしております。

2021年11月
ノーインパクト
ウィークの
開催



毎月テーマを決め、社内各所にPOPやポスターを掲示し、日常的な意識付けを目指しております。

2022年4月
サステナビリティレポート
SDGs宣言公開
SDGs推進委員会の発足

東京ドームホテル SDGs宣言

東京ドームホテルはSDGsをミッション・ステートメントへつなげるとともに、業務と関わりの深い重点課題への取り組みを通じ、お客様だけでなく関わるすべての方々の“楽しさ”の実現と豊かな社会の実現へ貢献いたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは

“Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)”の略称。

SDGsは地球上の「誰一人取り残さない(no one will be left behind)」持続可能な社会の実現を目指す国際目標。

2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までにすべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指し、「17のゴール」と「169のターゲット」から構成され、地球上の「誰一人取り残さない(no one will be left behind)」ことを誓っています。

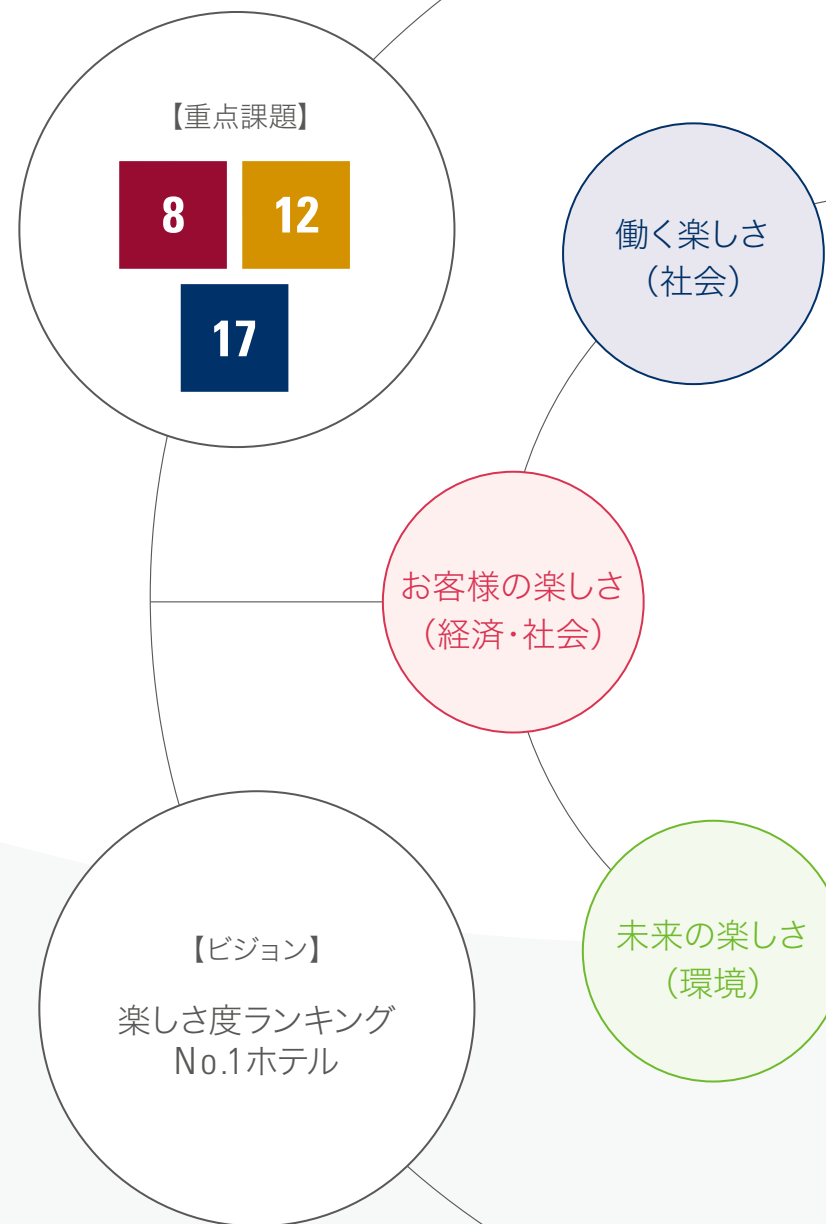




重点課題と3つの楽しさ

2022年度以降東京ドームホテルは事業と関わりの深い重点課題を設定いたしました。

私たちのビジョンにつながる“楽しさ”を、関わる人を軸に「3つの楽しさ」に分けて取り組みを整理し「楽しさ度ランキングNo.1ホテル」を目指して課題の解決に取り組んでまいります。





17

17.17
文京区のランドマークとして
すべてのステークホルダーと
のパートナーシップのもと目標
達成を目指してまいります。



重点課題

チェーンマッピングにより各ゴールと
ホテルとの関わりを認識し、より関係の深い
3つのゴールを重点課題として設定いたし
ました。「人」に重点を置きながら課題の
解決に取り組んでまいります。

8

8.4 8.5 8.9
働きやすく、やりがいをもって働ける
環境づくりを行うと共に、経済成長と
環境保護の両立を目指し、持続可能な
観光業の推進に貢献いたします。

12

12.3 12.4 12.5 12.6
サービスを提供する行程ごとのアプローチを
検討し、食品ロス削減への取り組みをはじめ
3Rの意識・ゴミの見直し、徹底する
ことにより廃棄物の削減に貢献いたします。



重点課題への 取り組み



8

働きがいも経済成長も

8.4 8.5 8.9

働きやすく、やりがいをもって働ける環境づくりを行うと共に、経済成長と環境保護の両立を目指し、持続可能な観光業の推進に貢献いたします。



業務改善

業務効率化のベースとなる「ムリ」「ムラ」「ムダ」の3Mに関して、現場で感じている内容を募集し、委員会で一緒に改善にむけた検討をするオペレーションを構築し運用を開始いたしました。



SDGs AWARD開催

社内のやりがいを醸成し、SDGsを意識するきっかけとなるよう「東京ドームホテル SDGs AWARD2022」を開催いたしました。課長・係長職からの推薦で34件のエントリーがあり、部署長と委員会にて評価基準を設けて採点を行いました。6つの賞を用意し表彰式を行いました。

重点課題への 取り組み



12

つくる責任つかう責任

12.3 12.4 12.5 12.6

サービスを提供する行程ごとのアプローチを検討し、食品ロス削減への取り組みをはじめ3Rの意識・ゴミの分別を見直し、徹底することにより廃棄物の削減に貢献いたします。



廃棄物の分別の徹底

どこに何を捨てればいいのかわからない現状を解消するために、館内共通の掲示物を作成し、分別一覧表とあわせてごみ箱の近辺に掲示いたしました。



廃棄物の計量システム

どこのセクションで、どのような廃棄物が、どれくらい廃棄されているのかを見える化することで、実態を把握するために廃棄物の計量をスタートし廃棄量の削減と資源の有効活用を検討してまいります。

重点課題への 取り組み



17

パートナーシップで目標を達成しよう

17.17

文京区のランドマークとしてすべてのステークホルダーとのパートナーシップのもと目標達成を目指してまいります。



文京区中高生向け施設「b-lab」との連携

文京区にある中高生向け施設「b-lab」と連携し、SDGsについて学ぶ会を開催いたしました。お客様の楽しさ、働く楽しさ、未来の楽しさをテーマに館内見学や座学を交えて、3回実施いたしました。



文京区×公益財団法人 JOICFP ×東京ドームグループ

すべての人びとが、性と生殖に関する健康と権利 (SRHR) を享受し、自己実現できる世界」をめざして活動する国際NGO JOICFP・文京区と連携し、国際女性デーである3月8日(水)に東京ドームグループのスタッフを対象に勉強会を開催いたしました。SRHRの普及・啓発に取り組む<文京区×I LADY.>ピアアクティビストの皆様にもご協力いただき、ジェンダー平等に関して考える会となりました。

2022年度の 取り組み



ランチョンマット テーブルナプキンを布製に

レストラン店舗で使用していた紙製のランチョンマットとテーブルナプキンを布製へ切り替えました。ブッフェレストランでは紙製ナプキンを、必要な分だけお取りいただくオペレーションへ変更することにより、紙の使用量の削減を行いました。

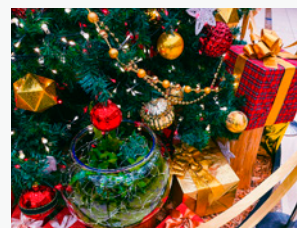
12 13 15



おいしく食品ロス削減

ケーキを作るときに出る生地やムースを無駄なく使用して作られたスイーツをブッフェなどでご提供しております。

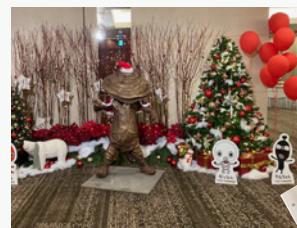
8 11 12



サステナブルな クリスマスイルミネーション

ディスプレイには、植物の力で発電する「botanical light (ボタニカルライト)」や、建築廃材を使用したウッドチップ、古紙を使用したオーナメント、プラスチックフリーのペーパーフラワーなどが取り入れられており、環境にも配慮した装飾を実施いたしました。

7 12 17



イベント時のSDGs啓蒙活動

「ウルトラヒーローズクリスマスファミリーパーティー2022」において子どもたちに分かりやすく楽しく学べる「かいじゅうステップSDGs大作戦」のPOPを設置しリーフレットの配布を実施いたしました。

4 12 17



©TPC ©KSW

2022年度の 取り組み



4 8 11 17

ホテルウェディング×産学連携

東京ホテル・観光&ホスピタリティ専門学校、長谷エングループ 株式会社デベロップジャパン UXDセンターと連携し「東京ドームホテル」をテーマ(舞台)として「ホテルウェディングの新しい価値」を提案するという内容を通じてコンサルティング手法や考え方を学ぶカリキュラムを実施いたしました。テーマ会場としての舞台提供、学生へのアドバイス、コンテストの審査等年間を通じて連携いたしました。2023年度に開業記念キャンペーンとして実施を予定しております。



4 15 17

SDGsイベントの開催

書を通じて環境問題や昔ながらの知恵を考えるSDGsイベント「美術家・春陽 Shun-Yo『BANKA TOKYO=万花東京=』」作品展とワークショップを開催いたしました。



1 5 8 10
12 17

ノベルティの製作

年末年始の宿泊プラン「新春らくらくプラン」ご利用のお客様へお渡しするノベルティとしてフェアトレード認証の製品を選定いたしました。

2022年度の 取り組み



12 13 15

会議資料のペーパーレス化

一部の会議においてタブレットを活用することで、年間18,000枚を超える紙の使用量を削減いたしました。

さまざまな社会貢献

ペットボトルキャップをワクチンに！

社内で集めたペットボトルキャップは、リサイクル事業者へ売却しその売却益を「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」を通じて開発途上国の子どもたちにワクチンを届ける活動に参画しております。

2022年度 92kg 39,560個 ポリオワクチン46本分

TABLE FOR TWOプログラム

社員食堂や店舗で対象となるTFTヘルシーメニューを購入すると、代金の一部が寄付金となって、TABLE FOR TWOを通じて開発途上国の子どもたちの学校給食になる「TABLE FOR TWOプログラム」に参画しております。先進国で健康的な食生活を推奨しつつ、開発途上国の子どもたちに学校給食を届けます。

- ・社員食堂寄付プログラム(毎週金曜日提供)
18,200円の寄付(学校給食910食分)
- ・健康増進プログラム ウォーキングラリー開催
74名参加 21,600円の寄付(学校給食1,080食分)



1 2 3 4
10 12 15 17

社会貢献型ECサイト CLOSED Mart

食品・商品廃棄ロスの削減及び従業員満足度向上のため、株式会社ファーストクラスが運営するCLOSED Martを2022年12月より導入いたしました。CLOSED Martは、会員企業・団体の従業員を対象に、さまざまな理由で一般市場への流通が困難な食品・商品を格安で販売する社会貢献型職域限定ECサイトです。本サイトの導入により、福利厚生制度の充実につながるほか、グループ全体で無理なく食品・商品の廃棄ロス削減に貢献することができます。



8 12 13

2022年利用数量310個 金額 148,933円

2022年度の 取り組み



7 12 13

宴会場絨毯の更新

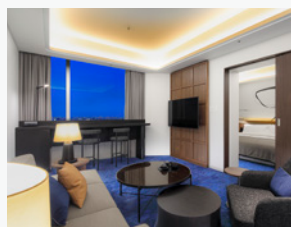
B1宴会場の大規模絨毯更新工事にて、サステナビリティに配慮した製品を選定いたしました。国産商品を使用することで輸送におけるCO₂排出量を削減し、リデュースナイロンの使用により排出物の削減をいたしました。



12 15

レストランの内装改修工事

ダイニング「ドゥミル」の改修工事において森林認証制度(FSC)取得の環境配慮型素材を採用いたしました。



7 12 13

館内照明のLED照明化

客室35～41F及び42F宴会場をLED照明に変更いたしました。



7 8 13 17

CO₂ゼロMICE®



宴会場で開催するイベント・会議で使用する電気を再生可能エネルギーに置き換えて、CO₂排出を実質ゼロで開催いただける商品「CO₂ゼロMICE®」の導入と共に、社内でカーボンオフセットを学ぶ勉強会を関係スタッフに向けて開催しました。

プラスチック 廃棄削減に対する 取り組み



<プラスチック使用量の削減について>

2022年4月「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行を受け、プラスチック使用量削減を目指し、客室アメニティや館内レストランで使用・提供する使い捨てプラスチック製品等に対して以下の対応を実施いたしました。

<客室アメニティ>

2023年2月より順次客室内のアメニティを以下に切り替えております。

- 9～34F ダイト「プランシリーズ」
- 35～38F ダイト「ハスクシリーズ」
- 39～41F シントワールド「エコアメニティシリーズ」

シャワーキャップに関しては全室廃止いたしました。今回の製品の切り替えにより、アメニティのプラスチック使用量は、約30%の削減となります。



・ディスペンサーの採用

ご利用の多いシャンプー、リンス、ボディソープのディスペンサーを9～22Fの客室に設置し、ボトルの省資源化を図っております。

<レストラン>

・カトラリー

テイクアウト商品提供時にお渡しするカトラリーはご要望に応じてお渡しする方式に順次変更しております。

・バイオマスストロー

ストローは2019年2月よりバイオマス素材を30%使用したストローに変更しております。

<ランドリー>

ハンガーは繰り返し使用することで消費量を削減しております。

3つの“楽しさ”

東京ドームホテルがビジョンとして掲げている「楽しさ度ランキングNo.1ホテル」。サステナブルな“未来”を目指すために、それぞれの“楽しさ”を追求し続けます。

お客様の楽しさ

安全・安心の取り組み
ユニバーサル対応
価値ある商品の提供

働く楽しさ

充実した教育プログラム
働きやすい職場環境
コンクール・表彰制度の実施

未来の楽しさ

次世代の育成
環境に配慮した設備
環境に配慮した取り組み

お客様の楽しさ



安全・安心の取り組み

すべてのお客様が楽しくお過ごしいただけるよう、防災対策、各種講習会、食品衛生など、安全・安心な環境を保ち続ける取り組みを実施しております。



東京ドームシティ総合防災訓練

東京ドームシティ内には、東京ドームホテルを含む8つの自衛消防隊が存在しております。また、互いのスキルを高めるため、相互訓練も実施しております。

総合防災訓練年3回実施 相互訓練 月1回実施



地区隊別訓練

東京ドームホテルは全22の地区隊にて編成されております。各地区隊は、月1回の訓練を目標として、消火活動、避難誘導、応急救護など、さまざまな訓練を自発的に行っております。

2022年度実績 訓練509回



夜間消防訓練

深夜勤務者で自衛消防隊を編成し、少人数の従業員でお客様を守ることを任務とした訓練を、夜間の時間帯に実施しております。

月1回実施



各種講習会

いざという時に全スタッフが正確かつ迅速に行動ができるよう対応力を高め、お客様の安全・安心につなげております。

- ・消火設備社内講習会 2022年度受講者10名
- ・AED使用講習会 2022年度受講者21名
- ・普通救命講習 累計取得者203名(取得率45.3%)



衛生管理

原料の受け入れから製造、製品の出荷までのすべての工程において、食中毒などの健康被害を引き起こす可能性のある危害要因(ハザード)を科学的根拠に基づき管理するHACCPの考え方を取り入れた衛生管理を行っております。

お客様の楽しさ



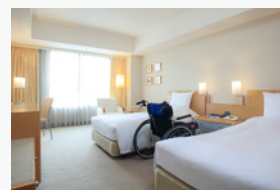
ユニバーサル対応

ユニバーサル対応を積極的に推進し、すべてのお客様に安全・安心にご利用いただけるホテルを目指しております。



車椅子をご利用の お客様向けルートのご案内

鉄道各線最寄り駅からホテル間のルートを公式ウェブサイトに掲載しております。



アクセシブルルーム

車椅子をご利用のお客様が快適にお過ごしいただけるよう、設計した客室をご用意しております。



車椅子専用駐車スペース

設備面のバリアフリー

館内ではエレベーターなど車椅子に対応しているほか、盲導犬、介助犬、聴導犬を受け入れる環境を整えております。



多目的トイレ



車椅子の貸出し



筆談機の貸出し

お客様の楽しさ



心のバリアフリー



お客様の安全・安心を第一に「知識・技術」以上に相手のことを理解しよう、相手の考え方や気持ちをしようとする「態度・心構えを大切にすることを基本とし、東京都「心のバリアフリー」好事例企業に登録されています。



ユニバーサルマナー講習

“自分とは違う誰かの視点に立ち行動すること”は、特別な対応ではなく「こころづかい」の一つとして考え、多様な方々へ向き合うための基本的な対応方法を学びます。

3級累計取得者376名(取得率85%)



サービス介助士

高齢者や障がいのある方などサポートを必要としている方に対し、相手の立場に立って適切な対応が取れるよう、座学や実践を通して知識・コミュニケーション方法・技術を、ユニバーサルマナー講習受講後に取得いたします。

累計取得者95名(取得率21%)

心のバリアフリー推進(LGBTQ対応マナー研修)

当事者である講師から、基礎的な用語やこれまでの歴史、職場における対応方法や具体的な取り組み事例などを総合的に学びます。特別な対応ではなく、こころづかいの一つとして捉え、多様な方々への適切な対応を学び、日々の業務に活かします。

LGBTに関する基礎知識/LGBTに関する歴史と法律/困りやすい問題と求められる配慮/国内における先進的事例

受講者35名

お客様の楽しさ



価値ある商品の提供

“楽しさ”や“遊び心”を盛り込んだ、東京ドームホテルならではのエンターテインメント性あふれる商品提供を目指し、お客様それぞれの楽しさを追求しております。



全国ご当地グルメフェア

全国ご当地グルメフェアにて『わたす日本橋』とコラボレーションした数量限定のオプションメニューを提供いたしました。



南三陸から恵みの海宝丼



わたす日本橋

『わたす日本橋』とは

三井不動産が東北の情報発信・交流の拠点として2015年に日本橋に開設。「人と未来に、心の架け橋を」というコンセプトのもと、災害を経て未来へ歩もうとする方々に学び、人の心に「わたす」架け橋になりつながりが生まれる場所でありたいと願っています。東北のおいしい食材を使ったお食事やお酒も提供しております。



夏休みイベント「親子でテーブルマナー教室」



夏休みイベント「親子でチャレンジ! ケーキ作り教室」

東京ドームシティや地域との連携

東京ドームシティを丸ごと楽しんでいただけるよう、シティ内の施設と連動した商品を提供しております。



©円谷プロ ©ウルトラマンディッカー製作委員会・テレビ東京
東京ドームシティとの連動企画
ミート・ザ・ヒーロー宿泊プラン



小石川後樂園文化財指定100周年記念
コラボレーションメニューの提供

働く楽しさ



充実した教育プログラム

語学やサービス教育、自己啓発の支援プログラムなど、さまざまな教育プログラムで、サービスのプロとしてのスキルアップをサポートしております。



異文化理解セミナー

接客能力等に長けた「全国通訳案内士」を招き、地域の観光人材を抱える組織に対してインバウンド対応能力を学ぶ研修を定期的に行っております。



OJTトレーナー養成研修(TTTプログラム)

職場内のすべてのスタッフに対して、公平かつ丁寧で理解しやすい日常業務の指導ができるOJTトレーナーを養成しております。

社員トレーナー 累計取得者182名



レストランサービス技能検定

料飲サービス職種で唯一の国家資格。学科試験・実技試験に合格することで資格取得となります。

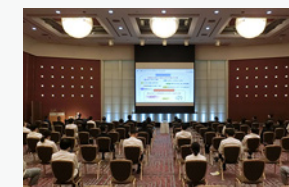
累計取得者 1級14名・2級17名・3級44名

食物アレルギー基礎知識講習

一人ひとりが食物アレルギーに対して正しい知識を持ち、よりいっそう安全で安心していただける商品とサービスの提供につなげる研修を定期的に行っております。

各種研修

- ・接客基本用語研修
2022年度受講者 23名
- ・電話対応研修
2022年度受講者 28名
- ・コミュニケーション研修
2022年度受講者 90名



働く楽しさ



働きやすい職場環境

従業員一人ひとりが仕事と育児・介護といった生活スタイルを両立させることができ、ワーク・ライフ・バランスを保てる環境をつくることによって、すべての従業員がその能力を十分に発揮できることを目指しております。



女性の活躍推進

女性活躍推進法に基づき、女性が継続して働きやすい職場環境の構築を目指しております。



育児休業・育児短時間勤務制度

子育てと仕事の両立を支援する仕組みを整えております。

介護休業・介護短時間勤務制度

介護で離職を余儀なくされるケースが増える中、介護と仕事の両立を支援する仕組みを整えております。



障がい者雇用推進

2020年6月に特例子会社を設立し、東京ドームグループとして障がいのある方の雇用促進と職場環境整備を進めております。

健康な職場を目指して

健康診断の実施

従業員の健康維持に向けて健康診断・人間ドックの受診率100%を目標としております。

ストレスチェックの実施

従業員が安心して働ける環境づくりの一環として、従業員自身のセルフケアのために毎年ストレスチェックを実施しております。

働く楽しさ



コンクール・表彰制度の実施

社内でのサービス・料理コンクールや、東京ドームシティ全体でのロールプレイングコンテストなど、さまざまな表彰制度を設けております。また社外コンクール参加へのサポート体制を整えて、働きがいの向上を目指しております。



各種社内コンクールの開催

ホテル料飲施設として、若手スタッフへの技術習得およびモチベーション向上を図るため、サービス・調理それぞれの社内コンクールを開催しております。



社外コンクールへの参加

・HRSサービスコンクール2023

・第13回全国イタリア料理コンクール
～Gran Concorso di Cucina 2022～



「東京ドーム賞」表彰制度

東京ドームグループすべての会社から秀でた成績、実務実績、改善の実践や顧客への優れたサービス提供などに貢献したセクションを表彰する制度です。2021年度通期においては全社として取り組んだ内容が評価され「東京ドーム社長賞」、「経営本部長賞」などを受賞いたしました。

未来の楽しさ



次世代の育成

社内だけでなく次世代を担う学生に向けたホテルスタッフとしての知識や経験を引き継いでいけるよう、さまざまな機会を醸成しております。



表彰制度

新米大作戦

社員育成への意欲的な風土醸成を目的とし、新卒入社1年目及び2年目社員を対象に日常業務における努力や当社への貢献が期待されるようなエピソードを投稿し、優れた内容に対して表彰しております。



東京寺子屋

東京青年会議所文京区委員会が主催する「東京寺子屋」に参画し、職業学習の一環として地元学校のホスピタリティ産業について講話しております。

2022年度 2校



アクア・アート水槽の展示

2015年より夏季限定企画として実施しております。地域の高等学校や専門学校の生徒の皆さまに作品を制作いただき、ホテルのお客様の投票で優秀作品を表彰するなど、アーティストの育成・地域社会との交流を深める点をご好評いただいております。



未来の楽しさ



環境に配慮した設備

事業活動で発生する環境負荷の低減に向けてグループ全体で、さまざまな環境保全活動を行っております。システムの導入や専門組織の設置など地球温暖化防止をはじめとする持続的な環境保全に積極的に取り組んでおります。



水のリサイクル(中水道)

厨房で使用した排水を除害処理し、従業員トイレの洗浄水として再利用しております。

雨水の有効活用

雨水の消毒処理を行い、植栽の散水・池の補給水として有効利用しております。



生ごみの再資源化

発生した生ごみは、堆肥化・エネルギー化の2種類で再資源化を行っております。



温室効果ガス排出削減

東京ドームグループ全体で、温室効果ガス排出削減に取り組んでおります。

- ・地域冷暖房システムの導入
- ・照明のLED化の推進
- ・ビルディング エネルギー マネジメント システム(BEMS)の導入
- ・ボイラ設備の更新
(炉筒煙管ボイラから高効率貫流ボイラへ更新)
- ・大型冷凍機設備の更新
(ブラインチラーから高効率ターボ冷凍機へ更新)
- ・温暖化対策小委員会への参加

未来の楽しさ



環境に配慮した取り組み

環境に配慮し、地球に優しい環境対応型素材を使用すると同時に、「ゴミの量を減らす」「環境に害のある物質を出さない」を重視してアイテムの選定を行っております。



くるくるリサイクル

ホテル館内の不要になった文具類を回収し、必要な部署に使ってもらう仕組みを作り、リサイクル活動を実施しております。



購買倉庫の活用

各部署ごとに在庫管理していた消耗品を購買課で一括保管することでホテル全体の棚卸資産を削減しております。また、衛生用品など価格変動が激しい商品の安定確保や価格抑制に役立てております。

TOKYO CORK PROJECT

捨てられるコルクを回収し、適切に再生加工し、素材として求められる形で提供し、またオリジナル商品の開発にも取り組む事業に参画しております。

2022年9月より 18kg





ビジョンとして掲げる「楽しさ度ランキング No.1ホテル」。人を起点とし楽しさを創出するという事業活動を改めて見直し、本業を通じてSDGsが掲げる「持続可能な社会の実現」に貢献してまいります。



会社概要

2023年4月1日現在

商号	(邦名) 株式会社東京ドームホテル (英文名) TOKYO DOME HOTEL CORPORATION
設立年月日	1999年2月1日
決算日	3月末日
発行する株式総数	30,800 株
発行済株式総数	2,000 株
資本金	払込資本金 1億円
所在地	〒112-8562 東京都文京区後楽1丁目3番61号
電話	03-5805-2111 <代表>
FAX	03-5805-2200 <代表>
出資者	株式会社 東京ドーム (発行済株式総数に対する割合100%)
代表者	代表取締役社長 執行役員 棟方 史幸
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外旅客の宿泊、貸席および宴会 ・料飲施設の経営および食品の製造および販売 ・煙草、酒類、雑貨、新聞、雑誌、医療品および書籍の販売 ・不動産の売買および賃貸借 ・スポーツ施設およびライブハウス、娯楽施設の経営 ・サウナ、バスの経営 ・旅行代理店の経営 ・各種チケットの販売 ・ホテルおよび料飲施設の経営受託および技術指導 ・両替業務 ・有価証券の保有および管理 ・その他前各号に付帯または関連する一切の事業
従業員数	433名(男性259名・女性174名)